

# 福祉と当事者のリアル

《履修上の留意事項》1．本講義は土曜日に講義を実施する。

《担当者名》○大原 裕介（客員）ohara@yu-yu.or.jp 近藤 綾香（非） 石川 あゆみ（非） 向谷地 生良

## 【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

## 【学修目標】

- 1．専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
- 2．新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	福祉最先端1 「あたりまえ」の介護	外部ゲストとして、高齢者支援・介護事業を実施している方をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	大原、近藤、石川 特別講師
3 ) 4	相談支援から見える社会のリアル	外部ゲストとして、生活困窮者自立支援事業、障害者相談支援事業に取り組む方をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	大原、近藤、石川 特別講師
5 ) 6	在宅医療 最後まで自分らしく	外部ゲストとして、在宅医療の最先端で活躍している方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	大原、近藤、石川 特別講師
7 ) 8	福祉最先端2	外部ゲストとして、福祉の最先端で活躍している方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	大原、近藤、石川、向谷地 特別講師

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

講義後に実施するリアクションペーパー（70%） 授業に参加する態度や姿勢、行動力（30%）

## 【教科書】

教科書は使用しない

## 【備考】

1. Zoomのチャットを活用して学生は質問・意見を記入し、それに対して講師がリアルタイムでフィードバックする。
2. 限定公開のYouTubeを用いて授業後の特定期間に限り、繰り返し視聴できる。

## 【学修の準備】

福祉のイメージを考えておくこと。

## 【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP5,4

## 【実務経験】

大原裕介（社会福祉士） 向谷地生良（精神保健福祉士）

**【実務経験を活かした教育内容】**

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。